

## Y10a 「こどものためのジオ・カーニバル」

西山晋史、福江純、渡会兼也(大阪教育大学)、西村昌能(京都府立洛東高校)

大阪で6年前から毎年11月に開催されている市民向け科学イベント、21世紀の地学教育を考える大阪フォーラム「こどものためのジオ・カーニバル」(以下ジオ・カーニバル)での取り組みについて報告する。

ジオ・カーニバルは「子ども達に地学の楽しさを伝える」ことに重点を置いて開催されているため、活動の主体は子ども達であり、実際に地学に関することを体験してもらうことを重要視している。難しい知識を与えるより、「地球や宇宙にはこんな不思議な現象があるんだ」と驚き、感動してもらうことは、聞くだけで得る知識より何倍も子どもの心に影響を与えるはずだからだ。ちなみにジオ・カーニバルの運営団体は有志による企画委員会で、予算組みを「こども夢基金助成活動」により行っている。

大阪教育大学天文学研究室・宇宙科学研究室はジオ・カーニバルに初回から参加しているが、今回は「重力レンズで見たあなた」「作ろう！立体星座」「手作りの太陽アニメーション～動いている太陽～」という3つの天文教育に関する企画を行った。それぞれのねらいは「宇宙にある不思議な現象の体験」「宇宙の空間的な広がりを知る」「宇宙の時間的な変化を知る」ことにあるが、当日のこどもの楽しみ方を見ると、どれも満足な結果が得られたと自負している。

本会ではジオ・カーニバルを通して得られたこれら3出展の利点、改善点を紹介し、さらなる天文教材の開発、普及に一役買いたいと思っている。またジオ・カーニバルの参加者アンケートを用いた反省を行い、他の同様の取り組みの参考になるような情報を提供するつもりである。